

改革!

理学療法士のこれからの働き方セミナー ～介護老人保健施設で求められる理学療法士の役割～

介護老人保健施設（以下、老健）は、「在宅支援・在宅復帰」が求められています。平成30年度の介護報酬改定では、算定要件に「リハ専門職の配置割合」や「充実したリハ」などが入り、益々老健におけるリハビリテーションが期待されています。そこで、理学療法士も「在宅支援・在宅復帰」の流れを理解し、求められる役割を果たす必要があります。

本セミナーでは、老健において求められる理学療法士の専門性、役割について学ぶことを目的としています。

<日時> 2019年3月24日(日) 13:30～16:05 (受付開始13:00～)

<場所> イイノホール&カンファレンスセンター RoomA
東京都千代田区内幸町2丁目1-1 飯野ビルディング (霞が関駅直結)

<対象> 老健で働くまたは興味のある理学療法士(会員のみ)
先着200名

プログラム

- 13:30～13:40 **開会挨拶**
森本 榮 (公益社団法人日本理学療法士協会副会長)
- 13:40～14:20 **基調講演「介護報酬改定の影響と理学療法士に期待すること」**
折茂 賢一郎 氏 (公益社団法人全国老人保健施設協会副会長)
- 14:30～15:30 **シンポジウム「老健で求められる理学療法士の働き方」**
座長：松井 一人 (公益社団法人日本理学療法士協会常務理事)
「老健での理学療法士のケースマネジメント」
及川 真人 (東八幡平病院)
「多様なアプローチで生活機能を高める理学療法士」
藤田 達也 (介護老人保健施設おゆみの)
「地域との繋ぎ役を担う理学療法士」
新谷 和文 (介護老人保健施設うらく)
「老健で働く理学療法士に求められる資質」
渡邊 要一 (永生会法人本部)
- 15:30～16:00 **意見交換・質疑応答**
- 16:00～16:05 **閉会挨拶**

**参加費
無料**

主催：公益社団法人日本理学療法士協会

申し込み先

<https://questant.jp/q/rouken>

申込用QRコード↓



※本研修では、生涯学習ポイントの付与はありません。

【お問い合わせ】公益社団法人日本理学療法士協会 事務局機能課 吉倉・森

E-mail:shokuno@japanpt.or.jp